

ぐるり30

～自治調査会だより～

2016

10

NO. 037

[発行日]
2016.10.1



【写真提供】粕江市 【撮影場所】粕江市内 多摩川 五本松付近

- ▶ 設立 30 周年記念 調査研究結果発表シンポジウムのお知らせ
未来に活かそう多摩・島しょ地域のレガシー
～東京五輪が照らす多摩・島しょ地域の可能性と展望～ … 2
- ▶ 自治調査会は設立 30 周年を迎えました！ … 3
- ▶ 愛らんどリーグ 2016 が開催されました … 4
- ▶ オール東京 62 市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介 … 5
青梅市 『おうめ水辺の楽校』親水事業
府中市 府中環境まつり 2016
檜原村 地球温暖化防止普及啓発事業
- ▶ 多摩交流センターだより
・多摩発・遠隔生涯学習講座 10・11 月開催予定の講座案内 … 6
・東京雑学大学 11 月講義案内 … 6
- ・TAMA 市民塾 日曜講座のお知らせ … 7
- ・広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介 … 7
山のふるさと村音楽祭
車いすの人と高尾山に登ろう
第 9 回西東京音楽祭
- ▶ 多摩地域ごみ実態調査(平成 27 年度統計)を発行しました… 8
- ▶ 編集後記 … 9
- ▶ とっておきスポット～“ココ”ご存じですか？～粕江市 … 10

Contents

10 月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

—(公財) 東京市町村自治調査会30周年記念—
平成28年度 調査研究結果発表シンポジウム

未来に活かそう

多摩・島しょ地域のレガシー

～東京 **五輪** が **照らす**

参加
無料

定員150名

多摩・島しょ地域の可能性と展望～

平成28年

日時 **10月19日(水)**

13:30～16:40 (12:30受付開始)

プログラム

※手話通訳・要約筆記あり

○基調講演

「多摩地域の軌跡とオリンピック・パラリンピック後の未来」

菊地 俊夫 首都大学東京 都市環境科学研究所 教授

○調査研究結果発表

「多摩・島しょ地域におけるレガシーの活用について」

高橋 治 (公財)東京市町村自治調査会 調査部 研究員

○パネルディスカッション

「東京五輪が照らす多摩・島しょ地域の可能性と展望」

菊地 俊夫 首都大学東京 都市環境科学研究所 教授

YUMIE 陽(あ)けたら海へ代表/元プロボディーボーダー

佐々木リディア 首都大学東京 国際センター 特任准教授

長島 剛 多摩信用金庫 価値創造事業部 部長

山本 秀一 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 主任研究員

○リオデジャネイロオリンピック出場選手からのメッセージ

宮川 紗江 体操女子 日本代表

■会場案内

府中グリーンプラザ(けやきホール)

〒183-0055 東京都府中市府中町1-1-1

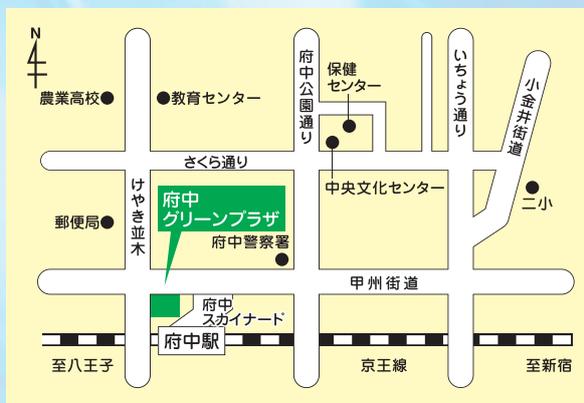
■京王線利用の場合

府中駅下車徒歩1分
新宿から約25分

■JR中央線利用の場合

武蔵小金井駅または
国分寺駅下車
府中駅行バス終点 徒歩1分

【ご注意】当施設には駐車場がありません。
公共交通機関をご利用ください。



シンポジウム参加申し込み要領

参加申込書の内容をFAXまたはハガキでお送りください。(ホームページURL : <https://comm.stage.ac/itmrsympo28/>からも申し込みいただけます)

締め切り(必着) : 平成28年10月11日(火) (申込多数時抽選) 当落をお知らせしたうえで、ご参加いただける場合は「参加証」をお送りします。

【参加申込書】

※多摩島しょ地域の市町村職員は、東京都市町村職員研修所(各自治体の研修担当)を通じてお申し込みください。
※下記の項目についてご記入ください。*印は必須項目です。

お名前(ふりがな)*	ご職業 *当てはまる項目に○をつけてください。							TEL*
	会社員	公務員	団体職員	自営業	主婦・主夫	学生	議員	
	ご住所* 〒							FAX
								E-mail

ハガキ送付先 : 〒171-0042 東京都豊島区高松1-1-11 (株) ステージ内 調査研究結果発表シンポジウム事務局 宛

FAX送付先 : 03-5966-5773 TEL : 03-5917-0203 (平日10:00～18:00)

●当日受付にて「参加証」をご提示の上、ご入場いただきます。

自治調査会は設立30周年を迎えました！

平成28年10月1日、当調査会は設立30周年を迎えました。

設立当時の30年前は、高度情報化、高齢化社会の到来、技術革新・国際化の進展など社会の多様化が進む中で、市町村行政が大きな変革を迫られている時代でした。

そのような状況のもと、都内市町村の共通課題について、広域的・一体的な取組が必要であるという多摩・島しょ地域全市町村の総意によって、昭和61（1986）年10月1日、行政シンクタンクとして当調査会が設立されました。

設立から今日まで、都内市町村の広域的かつ共通の課題についての調査研究や情報提供、共同事業の実施、広域的市民活動の支援を通して、多摩・島しょ地域の自治振興を図り、住民福祉の増進に寄与することを目的に事業を行ってきました。

また、平成24年4月には公益財団法人へ移行し、不特定多数の方の利益増進に寄与するという目的も加わり、より広く一般にわかりやすい情報発信なども行ってきました。

今回の30周年を記念して、当調査会と多摩・島しょ地域のこれまでの歩みと、オリンピックを契機としたこれからの姿を考えていただけるよう、次の事業を予定しています。

1. シンポジウムの開催

平成28年10月開催

左ページのとおり、平成27年度に実施した「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける多摩・島しょ地域の可能性と展望に関する調査研究」の結果発表とともに、多摩・島しょ地域の軌跡とこれからの展望について考えるシンポジウムを開催します。

2. 記念展示の実施

平成28年 9月開始

多摩交流センター（7ページの案内図参照）に、オリンピック・パラリンピックに関する小展示コーナーを設置しています。パネル展示に加え、パラリンピックの競技紹介DVDの視聴ができます。

3. 記念誌の発行

平成29年 3月発行

当調査会の取組や実績、有識者による当調査会のこれまでとこれからなどを掲載した記念冊子を発行します。発行時期は平成29年3月を予定しています。

運も脂ものってる季節

1等・前後賞合わせて 5億円

今年も おっしー 秋が 来る!

9月26日月発売開始!

2016年新市町村振興宝くじ

オータムジャンボ宝くじ 1枚300円

●1等・前後賞合わせて5億円(1等3億円、前後賞各1億円) ●発売期間 9月26日(月)～10月14日(金) ●抽せん日 10月21日(金)
この宝くじの収益金は区市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。



(公財) 東京市町村自治調査会 協賛事業

愛らんどリーグ2016が開催されました



愛らんどリーグ2016が、平成28年7月27日(水)から30日(土)までの延べ4日間、東京都大島町で開催されました。都内島しょ地域の全9町村11島12チームの子どもたちが、「サッカー大会」や「島じまん発表会」に参加し、交流を深めました。

愛らんどリーグは、伊豆諸島・小笠原諸島の少年少女たちが、サッカー大会等を通して相互の交流を深める事を目的に、平成6年度から毎年開催されています。23回目となる今年度は、大島町で開催されました。

初日は、大島町開発総合センターにおいて、「島じまん発表会」と翌日からの「サッカー大会」の予選リーグの組み合わせ抽選会が行われました。「島じまん発表会」では、各島の子どもたちによる伝統芸能やユニークな歌や踊りの披露等を行い、島の魅力や特徴を紹介していました。

決められた時間の中で、子どもたちが各自創意工夫して競い合い、会場が一体となって盛り上がる場面や、歓声や笑いが巻き起こる場面が何度もありました。審査の結果、青ヶ島村のスール青小SCが島じまん発表会の最優秀賞を獲得しました。



▲島じまん発表会の様子



▲サッカー大会の様子

2日目からは、いよいよサッカー大会です。開会式での大島マリNZFC選手による、はつらつとした選手宣誓のあと、予選リーグが始まりました。

時折強い日差しが照りつける中、大自然に囲まれたグラウンドで、子どもたちは最後まであきらめず、一生懸命にボールを追って走り回っていました。そんなプレーに、各チームの保護者やコーチのみならず、来賓の町村長など、多くの観客から大きな声援が送られ、試合終了後には、保護者やコーチたちが、子どもたちをねぎらう姿が見られました。

優勝おめでとう! 神津FC!!

3日目は、決勝トーナメントが行われました。白熱した試合の結果、神津FCが見事優勝しました。大島マリNZFCソレイユが準優勝し、父島キッカーズが第3位に入賞しました。また、個人賞として、得点王、ベストゴールキーパー賞、ベストレディース賞、MVP賞が贈られました。

この大会が、島同士の交流を促進するとともに、家族や地域とのつながりを再確認できる機会であることを実感しました。



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本プロジェクトの助成金を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施されている事業を紹介します。

かれん

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



シーナ



1 青梅市

がっこう 『おうめ水辺の楽校』親水事業

青梅市では、市内を流れる多摩川と霞川で、小中学生を対象に親水事業を実施しています。

市内で親水活動に取り組む4団体と市が協働し、稚鮎の放流、魚をつかみ取りして焼いて食べる、水辺の生き物調査、魚釣り、炭焼き、ライフジャケット浮力体験(川に飛び込んだり泳いだりする)、いかだ遊び、虫捕りなど、年間約10事業を行います。特に川での安全教育を重視しています。

子どもたちが豊かな自然の中、川遊びを通じて、自然と環境の大切さを体感し、豊かな人間性が育まれることを期待しています。

【問合せ先】青梅市環境政策課 TEL:0428-22-1111



2 府中市

府中環境まつり2016

府中市では、6月4日(土)府中公園にて、市民が地球温暖化防止、自然保護、ごみ減量や3R推進など、環境について楽しみながら学び、考えることができるイベントとして「府中環境まつり2016」を開催しました。

会場では、市民団体、事業者、学校、行政などによる環境活動紹介や身近な自然について遊びながら学べる工作体験のほか、フリーマーケット、ステージイベントなど様々な催しを行い、延べ1万9千人の方にご参加いただきました。

昨年に引き続き模擬店の食品販売でリユース食器を使用し、ごみの発生抑制を呼び掛けました。

【問合せ先】府中市環境政策課 TEL:042-335-4472



3 檜原村

地球温暖化防止普及啓発事業

檜原村では、地球温暖化防止普及啓発のために、毎年8月に行われる「払沢の滝ふるさと夏まつり」において「環境ブース」を設置しています。

平成27年度は、灯油や重油などの化石燃料に替えて木質燃料を使用することで、檜原村の豊かな自然を活かし、CO2排出抑制につながる取組である「木質バイオマス事業」についての紹介を行いました。

村の木質バイオマス事業の柱である薪をより多くの方に利用していただくことを目的として、「薪ストーブ」をテーマに啓発を行いました。当日は、薪ストーブ・自動薪割り機の展示を行い、ノベルティとして薪ストーブやバーベキューに利用できる着火材を配布して、薪の利用方法をより身近に体感していただくことができました。

【問合せ先】檜原村産業環境課 TEL:042-598-1011





多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



10・11月開催予定の講座案内

152回

題名

映画がフィルムだったころ

日時 平成28年10月13日(木) 14:30から約1時間

講師 島倉 繁夫 氏(映像制作、映像技術史研究家)

内容 これまで映画と言えばフィルムでしたが、この2年程ですっかり「制作～配給～上映」がデジタルシステムに変わりました。けれども、芸術から教育・娯楽に至るまでの幅広い分野において、120年にわたり映画の楽しさ、面白さを築いてきたのはフィルムです。私たちの心の中にある、フィルム時代の映画の記憶をたどってみることにしましょう。



153回

題名 陽の光～太陽の生涯

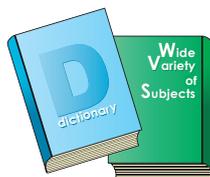
日時 平成28年11月10日(木) 14:30から約1時間

講師 日江井 栄二郎 氏(元明星大学学長、東京大学名誉教授)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成28年11月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は11月10日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1061回	11月6日(日) 14:00から	バイオプラスチックと持続可能社会	国眼 孝雄 氏 (東京農工大学名誉教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1062回	11月10日(木) 14:30から	陽の光～太陽の生涯	日江井 栄二郎 氏 (元明星大学学長、東京大学名誉教授)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1063回	11月17日(木) 14:00から	健康長寿の食と栄養 ～活力ある日々への提案	今井 正武 氏 (農学博士、元森永製菓(株)理事、 元横浜商科大学講師)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1064回	11月24日(木) 14:00から	シーボルト長男 アレクサンダー・フォン・シーボルト ～日本とヨーロッパの間の外交官	牧 幸一 氏 (早稲田高等学院講師、 元同学院教諭、元早稲田大学講師)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1062回は、第153回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第107回

ルノワールの光

【講師】篠崎 優美氏

日時	平成28年10月16日(日) 14:00~16:00	申込方法	当日会場にお越しください。 先着50名までとさせていただきます。
場所	多摩交流センター会議室 京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階 (府中市寿町1-5-1)	受講料	無料
問合せ		問合せ	多摩交流センター内 TAMA市民塾 TEL 042-335-0111

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

山のふるさと村音楽祭

- 日時 平成28年10月16日(日) 10:15~15:00
場所 東京都立奥多摩湖畔公園 山のふるさと村(奥多摩町川野1740)
内容 奥多摩湖畔に面した、山のふるさと村の美しい自然の中で、地元の和太鼓(奥多摩清流太鼓)、中学校の吹奏楽、ウィーンフィルで活躍するメンバーを中心とするクラシックアンサンブル、国内外で活躍する若手音楽家によるポピュラーコンサート、スペインで磨き上げた本格的フラメンコ、ジャズのスタンダード及びオリジナル曲など、様々なジャンルの演奏を子どもから大人まで楽しんでいただけます。
- 入場料 無料 主催 山のふるさと村音楽祭実行委員会
問合せ 山のふるさと村音楽祭実行委員会事務局(奥多摩町観光産業課内) TEL: 0428-83-2295



車いすのひとと高尾山に登ろう

- 日時 平成28年10月29日(土) 9:00 京王線「高尾山口」駅前集合
~16:00 解散予定 ※雨天中止
場所 高尾山1号路~高尾山頂(往復)
※車いすの方と介助者はケーブルカーで下山
内容 車いすの方は10月3日(月)参加募集開始後、先着順になりますのでご理解ください。山の専門家2名からロープ等用意してご指導いただけます。山頂での昼食になめこ汁をお楽しみに!ホームページで昨年の様子をご覧ください。なお、昨年は車いす5名・介助歩行3名の方と、学生・社会人・教員等ボランティア50名、スタッフや家族、総勢95名が秋の高尾登山を楽しみました。
- 入場料 1人500円(保険料、なめこ汁材料費等)、弁当・飲物各自持参、車いすの方は障がい手帳とケーブルカー代(本人と介助者1名半額)
主催 NPO法人地球冒険学校準備会 URL: <http://www.chikyubouken.jp>
問合せ TEL・FAX: 042-646-0459 E-mail: bandana@js9.so-net.ne.jp



第9回西東京音楽祭

- 日時 平成28年11月12日(土)開演13:00(12:30開場)
場所 コール田無多目的ホール(西武新宿線田無駅北口 徒歩5分)他
内容 知名度の低い西東京市を盛り上げようと始まったイベントですが、現在は多摩地区の地域交流に目的をシフト。中央線沿線や都心部だけにアートの風が吹くのは納得できない!多摩地区でも頑張るぞ!ジャンルや年齢、性別、プロ・アマの壁を越えた音楽愛好家が集結。こった煮のようなイベントになるかと思いきや、スタイルは違っても音楽は根底では繋がっていて、実は1つなのです、と出演者の演奏が雄弁に語ってくれる、そんな音楽祭です。
- 入場料 無料 参加費 3,000円(1人あたり) 主催 西東京音楽祭実行委員会
問合せ 木村 TEL:080-6597-2410(老後悔いなし西東京) E-mail: mail@onsenmura.net URL: <http://nishitokyooongakusaijimdo.com/>



「多摩交流センターだより」の問合せ先

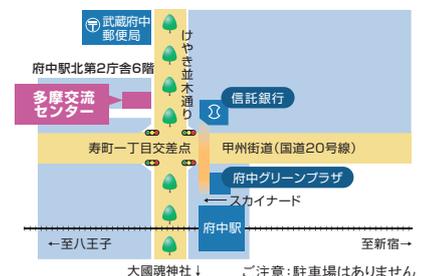
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



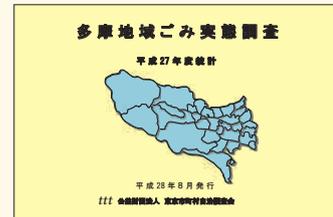
多摩地域ごみ実態調査(平成27年度統計)を発行しました

当調査会では毎年度、多摩地域30市町村のごみ処理の実績をまとめ、「多摩地域ごみ実態調査」として発行しています。このたび、平成27年度の統計ができあがりましたので、概要をご紹介します。

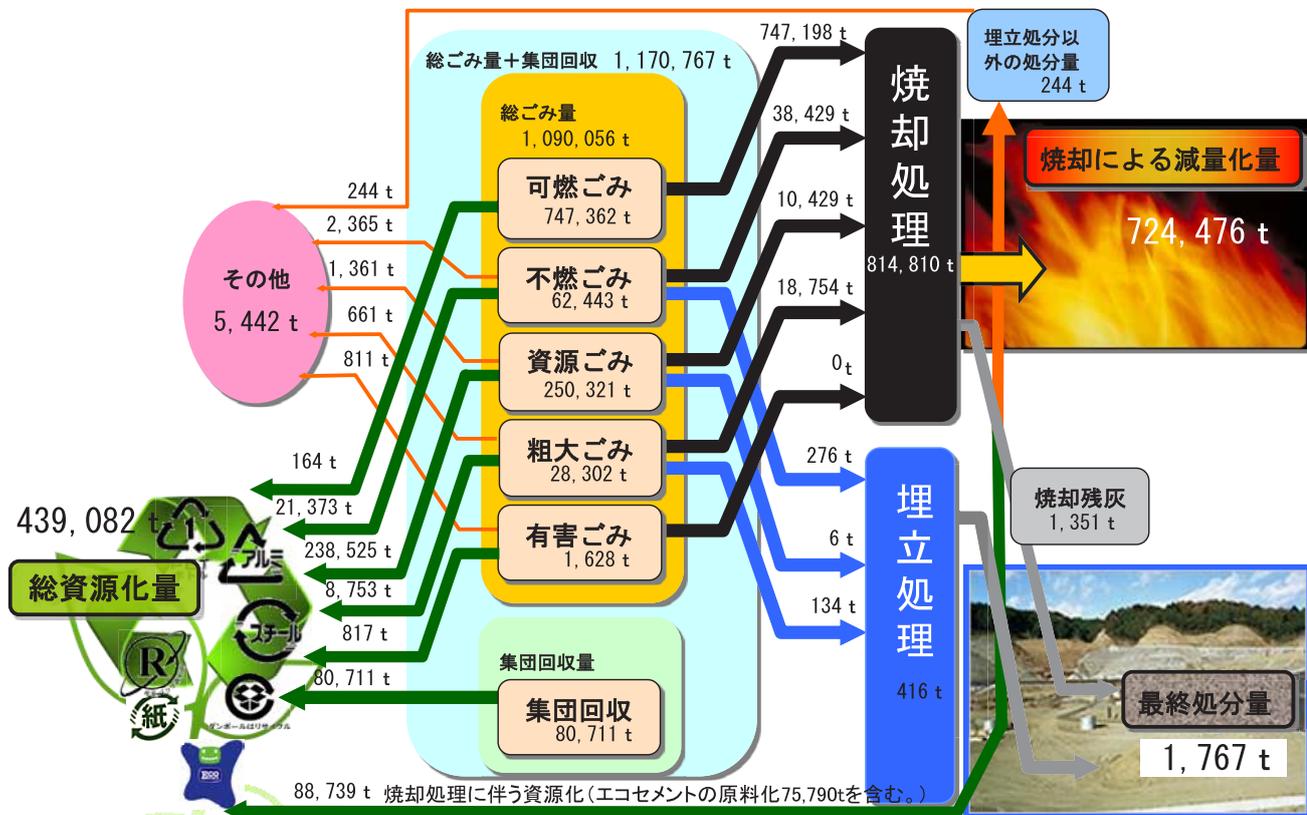
「多摩地域ごみ実態調査(平成27年度統計)」の報告書は、当調査会のホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)からダウンロードすることができます。

- ・「多摩地域ごみ実態調査(平成27年度統計)」 全54ページ
- ・「多摩地域ごみ実態調査(平成27年度統計 概要版)」全18ページ

なお、以前の報告書(平成17年度～平成26年度統計)についても、ダウンロードすることができます。ぜひご利用ください。



▶ 平成27年度 多摩地域30市町村のごみ処理の実績



※ 数値データは、その算出に当たり、小数点以下を四捨五入しているため、各内訳数値の合計とその合計欄の数値が一致しない場合があります。

総ごみ量

平成27年度の総ごみ量(家庭ごみ及び事業系ごみ)は1,090,056 tとなり、前年度に比べて0.8%減少しました。主な内訳を見ると、可燃ごみが747,362 tで前年度に比べて0.9%減少、不燃ごみが62,443 tで前年度に比べて2.2%減少、資源ごみが250,321 tで前年度に比べて0.4%減少しました。

1人1日あたりのごみ量

1人1日あたりのごみ量(集団回収[※]量を含む)は765 gとなり、前年度に比べて1.5%減少しました。

※ 町会・自治会等の地域の団体が、紙類やびん等の資源物を回収し、直接回収業者に引き渡す自主的な資源回収

ごみの資源化

平成27年度の総資源化率(リサイクル率)は37.5%で前年度から横ばい、ごみ資源化率は32.9%で、前年度に比べて0.1ポイントの増加となりました。

◆ ごみの資源化の状況を示す総資源化率(リサイクル率)とごみ資源化率は、次の計算式で求めています。

$$\text{総資源化率(リサイクル率)} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量}^{(*)1} + \text{収集後資源化量}^{(**2)} + \text{集団回収量}}{\text{総ごみ量} + \text{集団回収量}}$$

$$\text{ごみ資源化率} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量} + \text{収集後資源化量}}{\text{総ごみ量}}$$

※1 分別収集や拠点回収を行った資源ごみ(缶、びん、ペットボトル等)の量

※2 中間処理施設において、不燃ごみや粗大ごみ等から選別された資源物の量とエコセメントの原料に使用した焼却灰の量

最終処分量

最終処分量は1,767tとなり、前年度に比べて28.1%減少しました。

内訳を見ると、処理方法の見直し等により、焼却処理施設からの焼却残灰が1,351tで、前年度に比べて5.2%減少、埋立処理された不燃残さ(不燃ごみ等を破碎選別したもの)が416tで、前年度に比べて59.7%減少しました。



編集後記

- 先日、本紙記事4ページに掲載のとおり、島しょ9町村の子どもたちによるサッカー大会等を通じて相互の地域間交流を行う“愛らんどリーグ2016”(伊豆諸島・小笠原諸島地域力創造対策協議会主催)を視察してきました。

毎年行われるこのリーグ戦は、東京島しょ地域のサッカーを愛する子ども達が競い合う中で、互いの地域を理解する絶好の機会となっており、たいへん意義のある大会です。

出場した12チームは、男女混合で体格も異なるなど様々でしたが、青空の下でチーム一丸となり、懸命にボールを追っていた姿が印象的でした。

- さて、この夏は、猛暑に加え、4年に一度のスポーツの祭典「オリンピック・パラリンピック大会」がリオデジャネイロで開催されました。世界のアスリートたちの手に汗握る競技をテレビやパブリックビューイング等で観戦して、熱い熱い感動の夏を過ごされた方も多かったのではないのでしょうか。
- いよいよ4年後、東京がその感動の舞台となります。今後、リオ大会から引き継いだオリンピック旗・パラリンピック旗をお披露目するフラッグツアーをはじめ、カウントダウンイベント、競技会場の見学ツアー、マスコット・公式ソング等の

発表イベントなど、東京全体で多種多様なプログラムが開催され、東京2020大会の開催機運が一気に高まっていくものと思います。

- 本紙記事2ページのとおり、当調査会は、今日19日、「未来に活かそう多摩・島しょ地域のレガシー～東京五輪が照らす多摩・島しょ地域の可能性と展望～」をテーマにシンポジウムを開催します。

シンポジウムでは、はじめに「多摩地域の軌跡とオリンピック・パラリンピック後の未来」というテーマで基調講演をいただきます。また、昨年度に当調査会が実施した「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける多摩・島しょ地域の可能性と展望に関する調査研究」について発表を行います。

世界が一つにまとまることができる“世紀のビッグイベント”が、多摩・島しょ地域に何を残し、それをどう活かすことができるか、考えたいと思います。皆さまのご参加をお待ちしています。

- これらの事業やイベントを通じて、4年後の東京オリンピック・パラリンピックに選手として、または関係者として多くの方が参加することによって、世界中の方々と感動と喜びを共有できることを願っています。(M.M)



とっておきスポット

第25回 狛江市

“ココ”
ご存じ
ですか?

狛江市といえば、表紙の多摩川を連想するかもしれないけど、
今回はわたげのボクが「狛江産の美味しい野菜」を紹介するよ。

狛江市には、たくさんの生産緑地が残されていて、
少量多品種生産を特徴とした都市農業が盛んなんだ。
市内には、農家の皆さんが作った採れたて野菜を購入できる農産物直売所がたくさんあるんだよ。

また、狛江産野菜の一部は、統一したチェックリストの項目をひとつひとつ確認して、しっかりと生産管理をされたGAP野菜(農業生産工程管理:Good Agricultural Practice)で、安心・安全でおいしい「狛江ブランド野菜」として販売されてるんだよ。



狛江市では、地場野菜を全国にPRするために、ふるさと納税をしてくれた方への体験型返礼品として、日常生活では最近なかなか味わうことのできない、畑での農業収穫体験を提供してるんだよ。



また、1月の第二日曜日に多摩川河川敷で行われる「こまえ初春まつり」では、来場者に狛江産野菜を使用したとん汁を無償配布してるんだ。去年は2,500食も提供したそうで、毎年多くの方が寒空のもと、温かい狛江産野菜の味にしたつづみを打ってるんだって。みなさんもぜひ、ふわっと行ってみて!



【直売所案内等】

- ◎JAマインス狛江店：狛江市東和泉1-2-19
小田急線狛江駅徒歩4分
- ◎その他の狛江産野菜(GAP野菜含む)各直売所は狛江市ホームページの観光ガイドでご確認ください。
<http://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/45,0,346,2085.html>
- ◎狛江産野菜については地域活性課、ふるさと納税については課税課、こまえ初春まつりについては秘書広報室へお問合せください。

【情報・写真提供】 狛江市企画財政部秘書広報室
TEL 03-3430-1111(代表)

